



ふあい 広場



通称阿久津権現ごんげんと呼ばれるこの
神祠は、約一畝四方の石祠で、銅
製の扉の外面に「日光山奉寄進寛
」と刻まれています。

この覚書の一条に「宇都宮外久
次良大明神……」という文があり
ます。この大明神とは、現在の徳
次郎町の智賀都神社で、「徳次郎」
の地名の起源を明らかにする資料
として貴重です。

製作は、扉の罫口わだかまの刻印から、
享保9年8月と判明しています。

私が小学校二、三年の時までは、
毎年、4月の山開きと9月の山じ
まいに、神祠の扉を開け、のぼり
を立てたり近所の人に甘酒を配っ
たりして、豊作・安全祈願や感謝
の祭りを行っていました（昭和42
年3月25日、市の文化財に指定）。



篠井 神祠

篠井町 阿久津義淳さん

文化財ウォッチング